

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津川工業高等学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年2月16日(木) (意見書の最終回答日 3月22日)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	松井 進	本校同窓会長
副会長	小川 恵一	元坂本地区民生委員長
	平井 菜月	三菱電機株式会社 中津川製作所
	加藤 早苗	株式会社大同キャスティングス
	大山 安彦	本校育友会長
学校側	加藤 信男	校長
	伊藤 岳明	教頭
	斉藤 良成	事務長
	藤浪 元明	教務主任
	水谷健太郎	生徒支援主事
	山田 豪	進路支援主事
	後藤 昭博	工業部長

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 本年度の学校の取り組みについて

<委員からいただいた意見>

- ・社会。企業に信頼され活躍できる生徒を育て送り出す教育が、ぶれずに綿々と実現できている。
- ・YouTube を視聴しました。大学進学を当たり前と思っている大人たちに地元企業、地元社会を支える工業高校の意義をアピールする工夫をお願いする。
- ・コロナ、ネット社会、生徒の多様性など、問題の在り方や状況も変化しており、今までとは違う対応の仕方が求められとても大変だと思うが、良く対応できている。
- ・新型コロナ禍で様々な行事や取組を行っており感謝している。

#### (2) 本校の取組の反省と次年度に向けての提言について

<委員からいただいた意見>

- ・コロナ禍であっても、工夫して修学旅行、体育祭、各科課題研究発表会、各種講習会、イベント等々、実施されたことは、生徒育成に大変意義があったと思う。机上より、工業高校らしい実践や体験の重視が生徒をたくましくしていくと思う。
- ・環境の変化や社会の状況など、対応すべきことがたくさんあるが、最も基本的な「生徒へ“教える”」「基礎学力の定着が不十分な生徒の指導」をこれからもお願いしたい。

- ・情報モラルについて、親の知らないところで生徒が問題、トラブルに巻き込まれるのは、とても怖いと思う。学校で継続して情報モラルについて注意喚起をしていただいていることは、とてもありがたい。
- ・コロナ対策の緩和を受け、来年度はいろいろな行事がコロナ前のように行われると思うが、以前とまったく同じ形に戻すのではなく改善すべき点は改めて、より良い形で実施して欲しい。

(3) 課題研究発表会について（各科代表作品集を見ていただいて）

＜委員からいただいた意見＞

- ・実物を拝見できなかったのは残念である。
- ・建設工学科の地域貢献活動である、障子貼り等の高齢者向けボランティアには地区民生委員会として大変お世話になった。次年度以降もよろしく願いしたい。
- ・各科の代表作品だけあって、どれも素晴らしく感心した。
- ・この資料を見て、初めて自分の子どもがどんな研究をやっているのかを知ることができた。今後、研究発表も何らかの形で親も見られると良い。

(4) その他

＜委員からいただいた意見＞

- ・3年ぶりのインターンシップが開催できて良かった。弊社も始めて受入をさせていただき、とても良い経験となった。生徒にとっても良い経験となり、今後の進路決定などの参考になると良い。
- ・育友会活動も、ほとんど何も行うことができず大変残念であったが、生徒たちが無事に進路も決まり卒業でき感謝している。
- ・コロナでの各種行事の自粛も緩和されていくものと思うので、企業説明会等も是非積極的に参加したい。

6 会議のまとめ

- ・今回はコロナ感染対策のため課題研究発表会の見学を中止し紙面開催とし、委員の方々には各学科で行われた課題研究発表会の発表資料をご覧頂いた。生徒の作品や研究内容に対し高い評価を頂いた。
- ・本年度もコロナ禍であったため、体育祭・文化祭については制限のある中で実施した。今までのような行事は実施できなかったが、委員の方からは実施したことに対し評価をいただいた。
- ・委員の方々からは学校に対して高い評価をいただいている反面、生徒が定員に満たない問題は大きく今後も本校PRを展開していきたい。